

提言：二次交通対策事業について

I 提言の背景・趣旨

本町を目的地とする観光客の利便性の確保については、交流人口や関係人口の増加を目指す観点から、大変重要なものとなっております。鉄道や空港、そして路線バスといった一次交通と、そこから本町へとつながる二次交通の連結、整備及び充実は、観光立町を標榜する西川町にとって欠くことのできない重要な事業であります。多くの観光地から本町を選んでいただくには、東京や仙台などの大都市から、身近な存在であるように感じてもらえるようにする必要があります。

このことから、平成 27 年度から実施されてきた二次交通対策事業は、令和 5 年度から始まる第 7 次西川町総合計画においても重要な観光戦略の一つであると捉え、その充実策について考えます。

II 提言内容

二次交通対策事業はこれまでにいくつか実施されておりますが、来年度以降も改善し、継続していく必要があります。内容の充実はもちろんのこと、周知方法についても SNS の利活用を図り、デジタル化に対応した観光客の誘致へとシフトしていくことが望まれます。

したがって、今後の新たな変化に対応すべく、次の事項について提言するものがあります。

1. 更なる充実策について

(1) 乗合タクシー「月山ライナー」

現在は山形空港と JR さくらんぼ東根駅を起点としているが、山形駅を起点としたルートも検討すべきである。

(2) 定額タクシー「西川インターアクセスタクシー」

高速道路バスストップ西川 IC 停留所の場所に問題があり、場所を変更すべきである。また、月山口停留所からのアクセスも検討すべきである。

2. 周知方法について

(1) ホームページ

西川町や一般社団法人月山朝日観光協会のホームページにおいて、二次交通について誰でも簡単にアクセスし、必要な情報を選べるように整理すべきである。

(2) 制度の内容

PR パンフレットの簡潔化に努めること。わかりやすいように工夫すべきである。